

第29回

有島武郎青少年公募絵画展

有島記念館

Arishima Takeo Memorial Museum

## 有島記念館の若手芸術家応援の取り組みについて

有島記念館では、美術、音楽など若手芸術家に発表の場を提供するために2012年より展覧会やコンサート事業などさまざまな取り組みを行っています。美術関連では、過去の「有島武郎青少年公募絵画展」入選・出品者をはじめとして、活発な活動を行う作家を企画展「有島記念館若手作家展」シリーズとして紹介してきています。このほか、35歳以下の作家を対象とした「平成の『生れ出づる悩み』コンテスト」を隔年で開催しています。また、2016年度より当館で紹介した若手作家の作品の購入・収蔵を行い、その活動を後世へ伝える取り組みも行っています。



### 過去の「有島記念館若手作家展」

- 第1回:「再会-reunion展」(2013年)
- 第2回:「山下隆博写真展」・「新見亜矢子展」(2015年)
- 第3回:「平成の『生れ出づる悩み』2014展」(2015年)
- 第4回:「駒澤千波展」(2015年)
- 第5回:「石垣渉展」(2016年)
- 第6回:「カトウタツヤ展」(2017年)
- 第7回:「河野健展」(2017年)
- 第8回:「平成の『生れ出づる悩み』2016展」(2017年)

作品を購入・収蔵した若手作家  
山下隆博、新見亜矢子、駒澤千波、石垣渉、カトウタツヤ、河野健  
(敬称略)



有島 武郎 Arishima Takeo

1878(明治11)年生まれ。『或る女』、『カインの末裔』などの代表作で知られる小説家。東北帝国大学農科大学教官時代には、美術同好会「黒百合会」の創立に関与するなど、北海道の美術史にも足跡を残す。

1918(大正7)年から発表された有島武郎の小説『生れ出づる悩み』は、のちの画家・木田金次郎が自らの境遇や絵画制作を続けるか否かに悩んでいた時、偶然に有島の住まいを見つけて、訪問した事実がモデルとなっている。木田は、この運命的な出会いをきっかけとして、有島の励ましを受けながら、郷土・岩内の自然と深く対峙して、画業を極めていく。この作品に描かれる、芸術と実生活との間で苦悩しながらも、絵を描こうとする芸術家の姿は、多くの読者の共感を得て、有島の代表作の一つと称されている。

1922(大正11)年、狩太(現・ニセコ町)に所有した自らの農場を無償解放し、翌年に軽井沢で没する。

『第29回有島武郎青少年公募絵画展』統計

応募作品	250点
高校油彩	114点
高校水彩	10点
中学油彩	47点
中学水彩	79点
入賞・入選作品	94点
高校油彩	53点
高校水彩	5点
中学油彩	16点
中学水彩	20点

第29回  
有島武郎青少年公募絵画展

---

図録『第29回有島武郎青少年公募絵画展』

発行日  
2017(平成29)年10月28日初版発行

編集・発行  
ニセコ町・有島記念館  
〒048-1531 北海道虻田郡ニセコ町字有島57

印刷・製本  
株式会社サンコー

この展覧会図録の編集・デザインは、伊藤大介(有島記念館主任学芸員)が担当しました。

会期  
2017年10月28日(土)～11月12日(日)  
会場  
有島記念館 特別展示室  
主催  
ニセコ町 北海道新聞社  
主管  
ニセコ町教育委員会  
後援  
北海道 北海道教育委員会

## ごあいさつ

このたび有島記念館では、「第29回有島武郎青少年公募絵画展」を開催します。

当館が顕彰する有島武郎は、大正期を代表する白樺派の作家であるとともに、明治期の北海道における美術史にも足跡を残しました。武郎は、1908(明治41)年、東北帝国大学農科大学美術同好会「黒百合会」の創設に関与します。同会個展では、武郎は自作を出品するほか、美術雑誌としての側面を持っていた雑誌『白樺』の同人でもあったことから、後期印象派やロダンの彫刻作品などを展示紹介しました。この個展で武郎の作品に深い感銘を受けたのは、若き日の木田金次郎です。その後、武郎は木田を励まし続け、木田は郷土に根ざした画家として歩みを始めるのです。

有島記念館では、有島武郎が持っていたこの美術振興の精神を継承するため、1989(平成元年)年より本公募絵画展を開催しております。

今回は北海道内各地から、250点に及ぶ応募作品が寄せられ、10月19日、20日の両日に行われた審査会《審査委員長:佐藤友哉氏(札幌芸術の森美術館館長・美術評論家)、審査員:佐藤光雄氏(画家・全道展会員)、西村明美氏(画家・道展会員)、羽山雅倫氏(画家・全道展会員)》によって、入賞・入選作品94点が決定しました。

今後、入賞・入選されたみなさんが切磋琢磨し、北海道はもとより、日本、そして世界をまたにかけて活動するアーティストへと、また美術活動に理解のある大人として成長していただくことが、主催者としての望みです。

最後になりましたが、この公募展の開催にあたり、出品者をはじめ、中学校及び高等学校美術教諭のみなさまなど、多くの方々にご協力を賜りました。ここに厚く御礼申し上げます。

ニセコ町  
北海道新聞社

## (3) 中学油彩

爆発  
深海の妖精  
親指兎姫  
朝は呑む  
fresh fruit town  
pink  
Where is my real?  
生命線  
愛情  
夜の森へようこそ  
海沿いの列車  
ツナがってる?

柏木あおい  
佐藤亜見  
神谷実柚  
山田裕梨  
渡邊恵梨佳  
豊岡花月  
岡田れもん  
中島凜  
金山楓  
越前あかり  
長井崇晃  
舟橋萌々子

札幌市立中の島中学校3年  
石狩市立浜益中学校3年  
札幌大谷中学校1年  
札幌大谷中学校2年  
札幌大谷中学校2年  
札幌大谷中学校2年  
札幌大谷中学校3年  
札幌大谷中学校3年  
札幌大谷中学校3年  
札幌市立八軒中学校2年  
札幌市立札幌中学校2年  
岩見沢市立光陵中学校2年

## (4) 中学水彩

畑の根っこ  
seeds~ハジマリ~  
感情  
ハコの中の現実  
花卉  
部屋のすみにて勢いのあるオリヅラン  
羽着花  
時間の流れ  
レッドアイ  
学校のろうか  
放課後の図書室  
腐敗したバス  
海  
深い海  
キライ  
コレクション  
dream land

足立莉菜  
福士太朗  
中村早希  
野村祐希子  
吉田汐里  
菊谷菜織  
藤本千穂  
森井稜馬  
居戸遥  
中山風花  
藤本奈緒  
井上波流音  
中越悠豊  
千葉優雅  
樋渡華菜  
本田凜  
西田凜

千歳市立東千歳中学校2年  
北海道教育大学附属釧路中学校2年  
北海道教育大学附属釧路中学校2年  
北海道教育大学附属釧路中学校2年  
北海道教育大学附属釧路中学校2年  
札幌市立八軒東中学校1年  
札幌市立清田中学校2年  
札幌市立平岡中央中学校3年  
札幌市立あいの里東中学校3年  
ニセコ町立ニセコ中学校1年  
ニセコ町立ニセコ中学校2年  
岩内町立岩内第一中学校2年  
岩内町立岩内第一中学校3年  
岩内町立岩内第一中学校3年  
札幌市立宮の丘中学校1年  
岩内町立岩内第二中学校2年  
釧路町立別保中学校3年

神秘  
focus  
余暇  
蛸

石 岡 樹 北海道岩見沢緑陵高等学校1年  
川 岸 葵 里 北海道岩見沢緑陵高等学校2年  
中 越 舞 優 北海道岩内高等学校2年  
澁 谷 希 李 北海道岩内高等学校2年

(2) 高校水彩  
街と鯨と鱒の群  
集合果  
八月の水槽

北 澤 隼 北星学園大学附属高等学校2年  
村 田 瞳 札幌大谷高等学校1年  
熊 谷 結 香 札幌大谷高等学校2年

## 目次

### ごあいさつ

総評「第29回有島武郎青少年公募絵画展を審査して」06  
佐藤友哉（札幌芸術の森美術館館長・美術評論家）

入賞作品図版 08  
入賞・入選作品一覧 18

---

### 審査委員

#### 審査委員長

佐藤友哉氏（札幌芸術の森美術館館長・美術評論家）

#### 審査員

佐藤光雄氏（画家・全道展会員）

西村明美氏（画家・道展会員）

羽山雅愉氏（画家・全道展会員）

以上の4氏により、2017年10月19日・20日の両日、  
有島記念館にて厳正な審査が行われました。

---

### 謝辞

本公募絵画展の開催にあたり、多くの方々にご協力を賜りました。

厚く御礼申し上げます。

佐藤友哉

佐藤光雄

西村明美

羽山雅愉

北海道

北海道教育委員会

（順不動・敬称略）

## 総評「第29回有島武郎青少年公募絵画展を審査して」

佐藤 友哉（札幌芸術の森美術館館長・美術評論家）

第29回を迎えた有島武郎青少年公募絵画展。今回の応募点数は250点。いつもよりやや減少しているが、それだけに質の高い作品が多く集まったようだ。内訳は油彩161点(高校114点、中学47点)、水彩89点(高校10点、中学79点)。

審査にあたったのは道展、全道展所属の西村明美、佐藤光雄、羽山雅愉の各氏と当方の4人。結果、94点の作品が入選を果たした。これまでも厳選を旨としていたが、今回はさらに厳しい審査になった。

審査にあたっていつも思うのは、絵画の技術と、画面の中にどうイメージを実現させるか、という葛藤のなかで、表現とは何かという問いに正面から向き合う真摯な出品者の姿である。こうした問いがある限り、すべての応募者には伸びしろが無限に備わっていることを銘記してほしいと思う。

今回の出品作の特色といえば、目の前の自然や社会をしっかりと見つめた率直な表現が多かったことだ。写真を部分拡大したような表現や、意表を突くような極端な表現もあまり見受けなくなった。

また例年、優れた描写力には驚かされているのだが、今回はさらにその技術が高まっているという印象を強く

受けた。今回の受賞作はその傾向を端的に示しているだろう。

これはある意味でオーソドックスな表現への回帰ともとれる動向かもしれないが、一方で表現の振れ幅が狭まり、表現が固定化してしまうことは避けてほしいと思う。

このコンクールには、中学生と高校生を合わせて審査対象とするという大きな特色がある。今回その是非についても論議された。両者には技術も構想力についても大きな開きがあるので中高別に審査すべきではないか、という意見である。

しかし中高が互いに触発され、制作のモチベーションになっているという指摘もあった。たしかに今回の中学生の作品が大きな進歩を見せていることは、それを裏付けているのではないかと思われた。

とすればこれからも互いを意識し合いながら、次の記念すべき第30回展に向けて意欲的な作品を数多く出品してもらいたいと思う。

## 入選

### (1) 高校油彩

プライドの鎧  
寂寞  
静寂  
Girls  
beauty  
夜の茶会  
憧れ  
有限  
学校  
褪せる  
実り  
プラスバンド  
時間  
大切な人へ  
学校祭1日目  
人物画  
儂になりたい  
心  
I was  
火花  
ワタシ  
先生  
Spirits  
路地裏  
“道”恋  
腹突き破れば知れないか  
jam  
穏やかな…  
洗車少女  
融解  
折れそうな…  
山田さん。  
私の好きなモノ  
迷宮  
うちの笑顔生産機  
彩る空の侵略劇  
焼却

橋本 唯	北海道北見柏陽高等学校1年
金子 眞子	北海道北見柏陽高等学校1年
平野 葉月	北海道北見柏陽高等学校1年
今地 遥香	北海道北見柏陽高等学校1年
中村 沙耶	北海道北見柏陽高等学校2年
吉田 侑生	北海道静内高等学校1年
三海 莉華	北海高等学校1年
福岡 美穂	北海高等学校2年
藤嶋 優笑	北海道岩見沢東高等学校1年
福居 桃子	北海道岩見沢東高等学校2年
江ノ上 万智	北海道札幌厚別高等学校1年
花野 愛美	北海道札幌厚別高等学校1年
新林 花菜	北海道札幌厚別高等学校1年
吉澤 萌	北海道札幌厚別高等学校2年
伊藤 佑夏	北海道札幌厚別高等学校2年
富江 桃地	北海道札幌厚別高等学校3年
戸田 いちこ	北海道札幌厚別高等学校3年
鈴木 琴音	北海道札幌東陵高等学校2年
大城 小春	北海道札幌東陵高等学校2年
秦 菜津美	北海道札幌東陵高等学校2年
造田 菜々美	北海道札幌東陵高等学校3年
佐藤 楓華	北海道札幌東陵高等学校3年
佐藤 あかね	とわの森三愛高等学校2年
鈴木 咲希	北海道札幌啓成高等学校3年
竹村 圭央	北海道札幌啓成高等学校1年
館岡 美波	北海道札幌啓成高等学校1年
伊賀世 杜奈	北海道札幌啓成高等学校1年
工藤 もも	札幌大谷高等学校1年
酒本 珠羽	札幌大谷高等学校1年
油井 郁奈	札幌大谷高等学校2年
田中 巧貴	札幌大谷高等学校2年
金 明日果	札幌大谷高等学校3年
内ヶ島 綾花	北海道檜山北高等学校1年
楠本 剛志	北海道檜山北高等学校1年
大谷 陽和	北海道檜山北高等学校1年
高橋 実鈴	北海道檜山北高等学校1年
保井 あかり	北海道岩見沢緑陵高等学校1年

## 入賞・入選作品一覧

左より作品名、出品者名、出品者学校名、学年の順  
敬称略

### 有島武郎賞

ひたすらに 有ノ木美穂 北海道岩見沢東高等学校3年 高校油彩

### 北海道知事賞

夢 吉田ひなの 札幌大谷中学校3年 中学油彩

### 北海道教育長賞

帰路 記虎千尋 札幌大谷高等学校2年 高校油彩

### ニセコ町長賞

Grimwer 中村彩音 北星学園大学附属高等学校2年 高校水彩

### ニセコ町教育長賞

野葡萄 枝元善藏 北海道岩内高等学校2年 高校油彩

### 北海道新聞社賞

屈葬 記田みのり 北海道札幌啓成高等学校2年 高校油彩

### 奨励賞

赤に染まれない 宮崎仁美 北海道北見柏陽高等学校1年 高校油彩

或る女 大谷彩乃 日本放送協会学園高等学校3年 高校油彩

苗床 千葉安奈 北海道札幌東陵高等学校3年 高校油彩

6 小椋史花 北海道札幌啓成高等学校1年 高校油彩

君在りて幸福 櫻間晴香 北海道札幌啓成高等学校2年 高校油彩

平和の滝 高島綾乃 札幌大谷高等学校1年 高校油彩

リコリス 伊田光里 北海高等学校3年 高校油彩

光射す 守屋愛弓 北海道岩見沢緑陵高等学校2年 高校油彩

午後の街角 秋常留依 札幌大谷高等学校3年 高校水彩

絆 小山莉奈 小樽市立桜町中学校3年 中学油彩

陽光 荒紫苑 札幌大谷中学校2年 中学油彩

祖母と思い出の坂道 榎谷亮太 札幌大谷中学校3年 中学油彩

道具置場 中山留位 千歳市立東千歳中学校2年 中学水彩

2017. 乾風 舟木菜音 釧路町立遠矢中学校2年 中学水彩

中年天使 空想のロボットをつくる 内藤綺咲 釧路町立遠矢中学校2年 中学水彩

## 寸評

### 有島武郎賞

《ひたすらに》有ノ木美穂（北海道岩見沢東高等学校3年）高校油彩

学校の美術室だろうか、真剣に制作に取り組む学生の姿。的確な描写もさることながら、神経の行き届いたタッチとニュアンスに富む色調の美しさが秀逸。テーマと表現がみごとに一致。

### 北海道知事賞

《夢》吉田ひなの（札幌大谷中学校3年）中学油彩

クローズアップされた威嚇するライオン。その迫力ある姿を克明かつダイナミックに描く。イラスト的な表現にも見えるが、原色による大胆な彩色はそれを越えた幻想的世界を狙う。

### 北海道教育長賞

《帰路》記虎千尋（札幌大谷高等学校2年）高校油彩

電車の車内を精緻な描写でみごとに描き出す。遠近法や描写の粗密による空間の表現も的確。倦怠感を漂わせる情景。スマートフォンに見入る学生たち。今日の社会を透視する。

### ニセコ町長賞

《Grimwer》中村彩音（北星学園大学附属高等学校2年）高校水彩

魔法の本を開いているのだろう。立体絵本のようにそこから森の家や手の中の湖が飛び出す。ファンタジーの世界を率直に表現。丹念な描写と破綻のない構成が強い訴求力を持つ。

### ニセコ町教育長賞

《野葡萄》枝元善藏（北海道岩内高等学校2年）高校油彩

野葡萄が垂れ下がる石垣の何げない風景。その一角を切り取ってそれぞれを丁寧に描く。石垣と蔦葡萄の対比。手前と上部の奥に広がる空間との対比も絶妙。誠実な描写に好感が持てる。

### 北海道新聞社賞

《屈葬》記田みのり（北海道札幌啓成高等学校2年）高校油彩

落ち葉を背景にうづくまる学生。タイトルからは埋葬の姿を思わせる。痛々しいままで自己を凝視する作者自身の姿か。死や生に対する青春期の真摯で初々しいメッセージが伝わる。

2017（平成29）年10月26日木曜日 北海道新聞夕刊掲載



《ひたすらに》 高校油彩  
有ノ木 美穂 北海道岩見沢東高等学校3年



《中年天使 空想のロボットをつくる》 中学水彩  
内藤 綺咲  
釧路町立遠矢中学校2年



《道具置場》 中学水彩  
中山 留位  
千歳市立東千歳中学校2年



《祖母と思い出の坂道》 中学油彩  
榎谷 亮太  
札幌大谷中学校3年



《2017. 乾風》 中学水彩  
舟木 菜音  
釧路町立遠矢中学校2年





《陽光》中学油彩  
荒 紫苑  
札幌大谷中学校2年



《光射す》高校油彩  
守屋 愛弓  
北海道岩見沢緑陵高等学校2年



《絆》中学油彩  
小山 莉奈  
小樽市立桜町中学校3年



《午後の街角》高校水彩  
秋常 留依  
札幌大谷高等学校3年



《夢》中学油彩  
吉田 ひなの 札幌大谷中学校3年



《帰路》 高校油彩  
記虎 千尋 札幌大谷高等学校2年



《6》 高校油彩  
小椋 史花  
北海道札幌啓成高等学校1年



《リコリス》 高校油彩  
伊田 光里  
北海高等学校3年



《平和の滝》 高校油彩  
高島 綾乃  
札幌大谷高等学校1年



《君在りて幸福》 高校油彩  
櫻間 晴香  
北海道札幌啓成高等学校2年

## 奨励賞



《赤に染まれない》高校油彩  
宮崎 仁美  
北海道北見柏陽高等学校1年



《或る女》高校油彩  
大谷 彩乃  
日本放送協会学園高等学校3年



《苗床》高校油彩  
千葉 安奈  
北海道札幌東陵高等学校3年

## ニセコ町長賞



《Grimwer》高校水彩  
中村 彩音 北星学園大学附属高等学校2年



《野葡萄》高校油彩  
枝元 善藏 北海道岩内高等学校2年



《屈葬》高校油彩  
記田 みのり 北海道札幌啓成高等学校2年